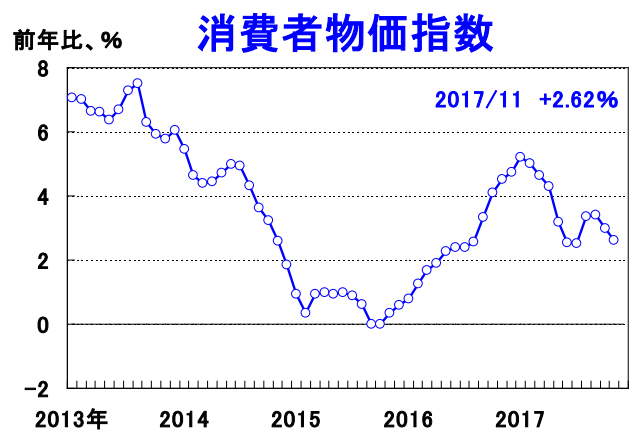
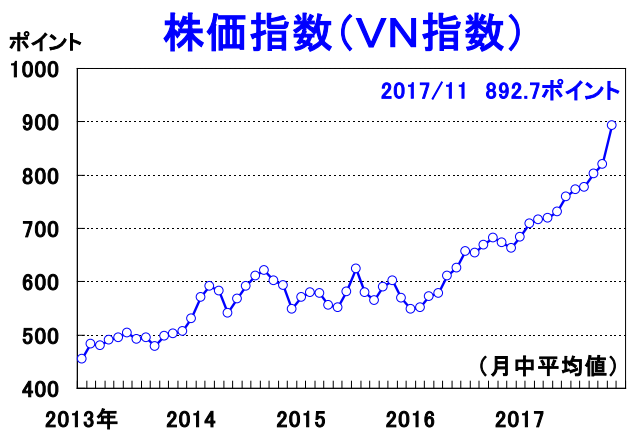
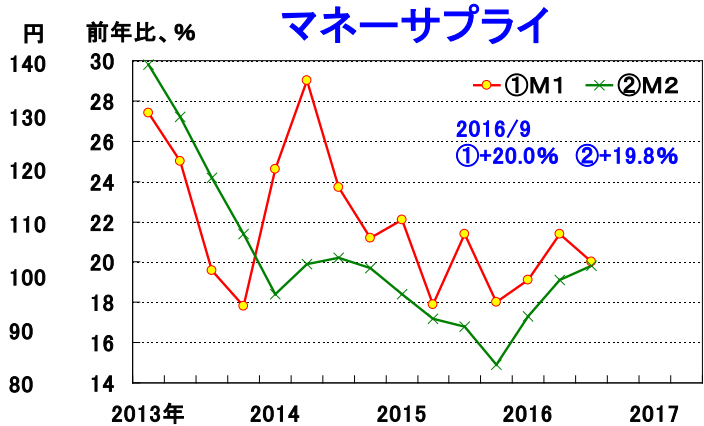
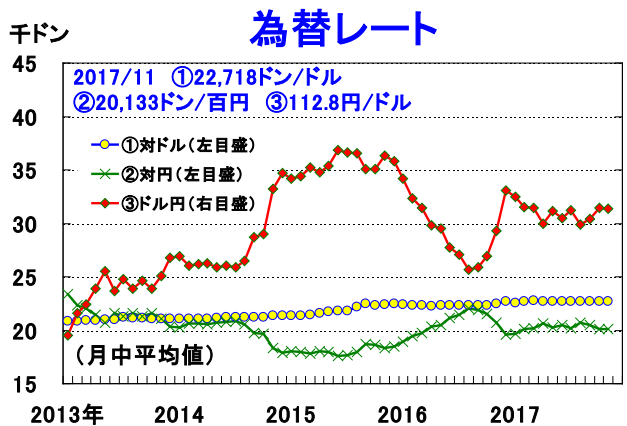
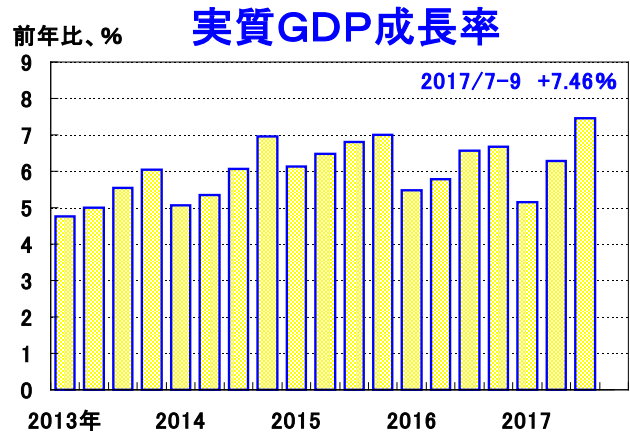
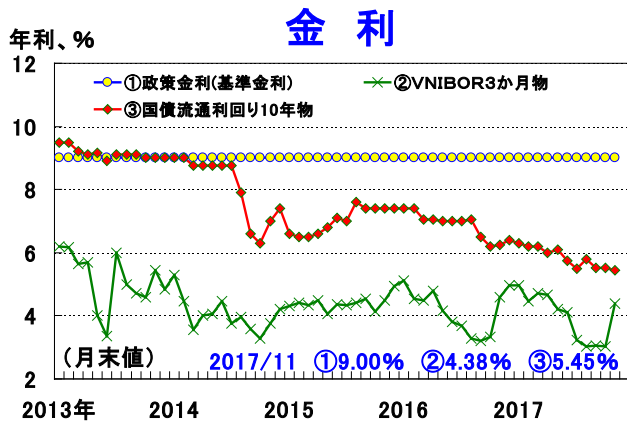


グラフで見るベトナム経済 2017年12月号(No. 95)

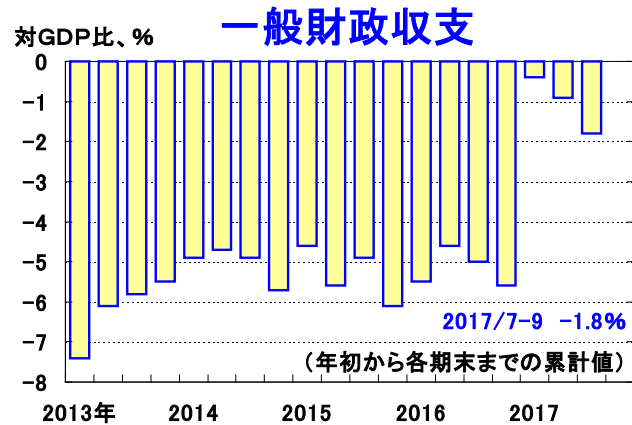
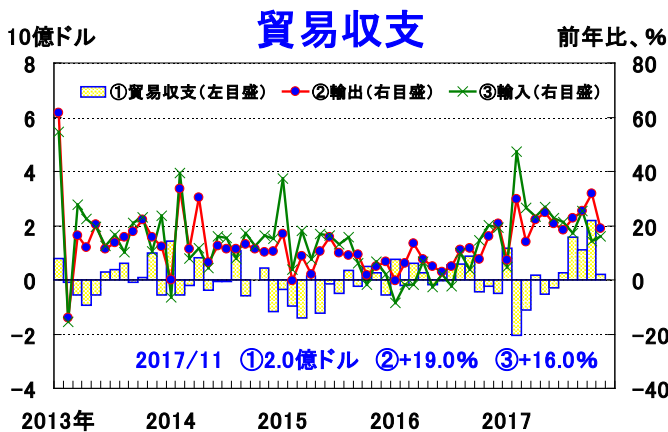
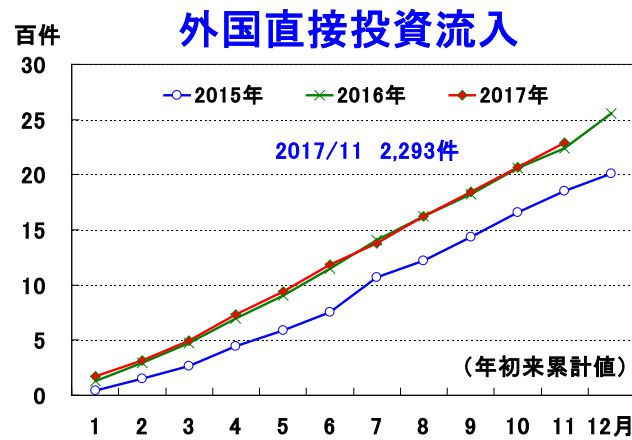
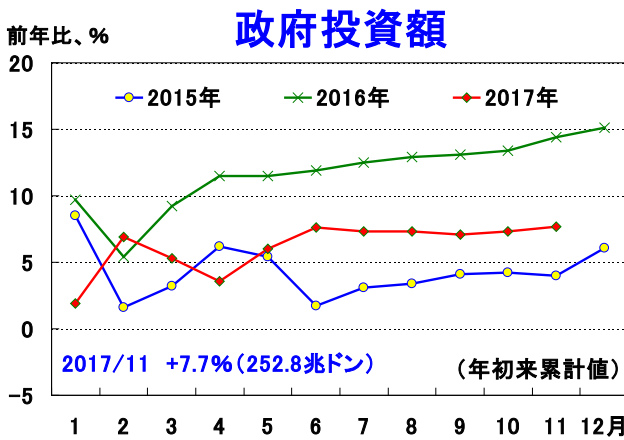
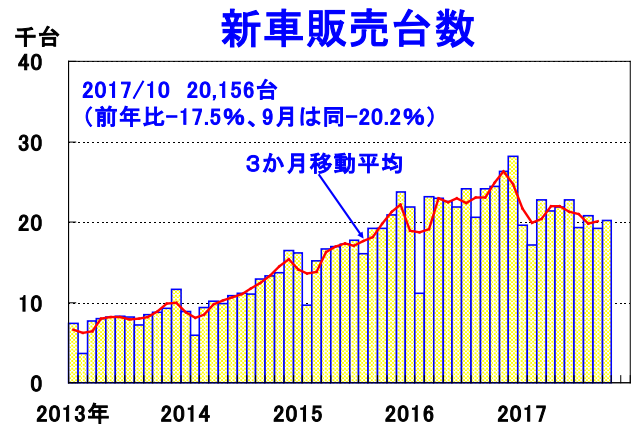
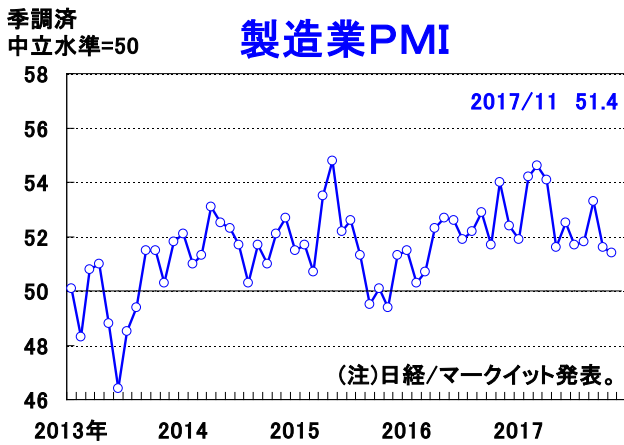
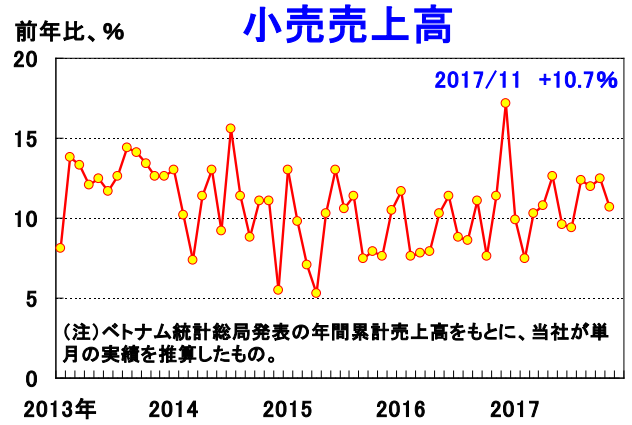
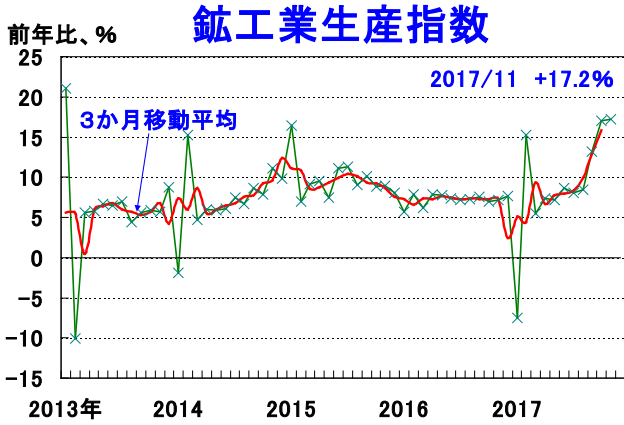
ベトナム景気は回復している。まず、11月の鉱工業生産は前年比+17.2%と前月(同+17.0%)に続けて好調に推移した。業種別にみると、コンピューター、電子・光学製品(10月:前年比+69.8%→11月:同+56.9%)が大幅な伸びを続け、医薬品(10月:同+8.7%→11月:同+32.9%)や電気設備(10月:同+10.9%→11月:同+20.8%)も加速した。また11月の製造業PMIは51.4と2年続けて中立水準の50を上回った。家計部門に関しても、11月の小売売上高が前年比+10.7%と4か月連続で2桁の伸びを維持した。



【今月のトピック:トランプ米大統領がベトナムを訪問】 ダナンで開催されたアジア太平洋経済協力会議(APEC)に出席するため、トランプ米大統領がベトナムを訪問し、チャン・ダイ・クワン国家主席とハノイで会談した。今回の会談におけるベトナムの成果としては、南シナ海の海域を巡る領有権問題について、米国が関与する旨の発言を引き出したことがあげられる。中国の軍事的な台頭が進むなかで、ベトナムと米国が安全保障分野で協力を続けることも確認された。一方、トランプ大統領はベトナムに対し、公正で互恵的な2国間FTAの早期実現を要望し、ベトナム向け輸出拡大について強い期待感を表明した。

(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。